

佐賀県知事 山口祥義様への質問状

【質問書】

※私たち福岡県民は山口佐賀県知事に対し選挙で一票も投じておりません。しかし、玄海原発で事故が起きれば、風向きによっては否応なしに被害だけ受けます。よって下記の質問に具体的に答えてください。

今を生きる会

共同世話人 左近明子 大津 啓 吉良文江
大澤ますみ 小林榮子

1. 人類が誕生して何年程になるのでしょうか？それに対して、人類が原子力発電を始めたのは何年程でしょうか？長い人類の歴史の中で、この短い時間で、人類が地球の自然環境に対して大きな影響を与え、自らも生存の危機に傾いてきているのを自覚されていますか？
2. 人類の歴史は、差別とのたたかいであったとも考えられます。男女差別・貧富の差別・地域差別・障がい者差別など多々あります。その中で、新しく放射能差別が起きようとしています。福島からの避難者への差別・放射能労働に関わらざるを得ない人への健康差別・遺伝子が傷つくことに付随しての未来までの命への差別。差別に対してどのように対処されようとしておられますか？
3. 使用済み核燃料の10万年保管について、国は事業者がやると言っていますし、事業者は国がやると言っています。つまり、どちらも自分は責任は持たないということを行っている訳です。県としては、いつも国がと言っていますが、やはり、国が責任を持つべきとの答えですか？反対しない場合に、県知事には何の責任もないと言い切れませんか？
4. 玄海原発で一旦事故が起きれば、佐賀県のみならず福岡県・長崎県にも大きな影響を与えます。知事が再稼働に反対を示さなければ、再稼働されます。佐賀県民だけでなく、福岡や長崎の住民も、強い危機感を持ち佐賀県知事の言動に注目しています。福岡の住民の多くはメリットがなく、放射能の被害だけは甚大なものになることが予想できるので原子力発電に反対の声が多いです。それなのに今まで知事は、再稼働止む無しの言動でした。それは、分かりやすく言うとどうしてなのですか？教えてください。再稼働反対の場合は、お答えはおりません。
5. 佐賀県での説明会では、ほとんどの住民が強い反対の考えを表明しました。このことをどう受け止めておられますか？来週には臨時県議会を開催されるそうですが、再稼働ありきでならないようお願いします。GM21 ミーティングの議事録に寄ると、首長さんは、よく学んでおられると安心した方もいらっしゃって、心強く思いました。県議会の議員さんは、原子力発電について十分に理解されておられると考えておられますか。議員さんのことを良く存じていませんので、経済のことを一番に考えておられるのではないかと危惧しています。経済は命なくして成り立たないものであります。放射能は、命の問題だと捉えておられますか？
6. 昨年2016年に、福岡県も含めて避難計画を基に避難訓練がありました。しかし、避難をしな

ければならぬ事態に陥りたくありません。しかし、原子力規制委員会の田中氏も原発の稼働に対して、「規制基準には適合しているが安全とは申し上げない」「住民がどう判断するか、我々は関知しない。」と言っています。つまり、住民の判断に任せる。責任は取らないという風に受け取りました。安全は保障しないとも言っている訳です。実際に避難しなければならないことがあります。私は、佐賀が大好きです。佐賀に帰ってくると、いつもの穏やかな山並・豊かな田園風景・美しい海に癒されます。避難をするということは、放射能に汚されるということです。再稼働しても絶対安全であり、何かあれば、自分が責任を持つと言っただけですか？経済のためという答えでごまかさないでください。

7. 避難訓練は破たんしていることがはっきりしています。離島での避難・災害弱者避難・避難の連絡方法・避難するということは放射能を浴びるということ・避難経路は保障されていないこと・戻って来れる保証がないこと・戻って来れたとしても、元の状態にはならないこと・食料や飲料水や寝具や衣服などなど沢山の物がまだ整備されていないこと・超最低限の備えであるはずの安定ヨウ素剤さえ行き渡っていないこと・素人の私でさえ、避難訓練を見せていただいたとき、規模や時間の感覚や方法など、その実態に呆然としました。その破たんを言葉だけで繕わないでください。どこが破たんしていると自覚されているか教えてください。
8. 知事は福島に視察に行かれました。住民の嘆きや悲しみがどうみえましたか？ただ、行政や事業者の説明だけの視察ではなかったと思います。私は残念ながら福島に行ったことはありません。しかし、人々の話を聞き、映像を見て、福島の事故を想像しました。故郷への思いを強く残して避難した人・激しい労働の末に先祖から残された大地の上の恐ろしい放射能が詰め込まれたフレコンバッグの山・無人のゴーストタウンと言って言い過ぎではない町・・・数えればきりがありません。自殺者が次々と出たのは、ただ弱かったからですか？避難者がまだ何万人もいることをどう捉えておられますか？玄海原発は安全だから、決してこのようにならないと思って帰県されたのでしょうか？想定外の色々な事象がこれからも起こりうるものであり、私達の福岡も福島となりうるのだということ。第2の安全神話になる可能性についてどう考えられますか？
9. 福島では、4月1日から、帰還困難区域を除いて避難が解除され帰還しなければならなくなりました。しかし、16%しか帰還を希望していないそうです。それは、年間20Sv以下という本来ならば安全管理区域並みの放射能の場所に住民が帰らなくてはならないのもその一因です。チェルノブイリでは、この放射能のレベルでは、帰ることができませんでした。それでも体を壊した人が沢山います。中には不安の中にも、健康をある程度保っている人もいるでしょう。その強い人に基準を合わせるのですか？放射能に弱い人・赤ちゃん・子どものことを考えないということですか？今の命・未来の命にどう向かい、どう応えられるのですか？
10. 福島だけの問題でなく、地球規模で放射能汚染は広がっています。これ以上放射能の汚染を広げたくありません。しかし、玄海原発では事故が起きていないときも、原発から放射能が漏れていました。これ以上少しでも放射能汚染を増やさないために佐賀県から動いてくださる気持ちは持っておられますか？以前、知事は「玄海原発は、すでに在るもの。」と言われました。しかし、今知事として「要らない。動かさない。経済の問題よりも命の問題」と発言されることも可能です。勇気を持って、未来の命のために決断してくださいますか？
11. いつも思います。聡明であられる知事なのに、知事なら考えたら分かることなのに原発は危

ない、再稼働させるべきでない。しかし、「再稼働は仕方がない。」と発言されるのは、経済界の人たちが怖いからなのですか？人質を取られでもしているのですか？自分の代で佐賀県の経済が落ち込んだと評価されるのが嫌なのですか？防衛のために必要なのですか？私には分かりません。しかし、将来「遅かったが、何とかここで佐賀は原発からさよならをしたのだ。」「この悲惨な放射能のゴミの量がここで何とかストップしたのだ。」「放射能にこれ以上汚染されるのを佐賀県知事は止めたのだ。」と未来の子孫も理解してくれると思いませんか？

1 2、佐賀県だけでなく、福岡県・長崎県などその他の住民の不安な気持ちにどう寄り添ってくれますか？佐賀県の説明会は、国や事業者の新安全神話を聴かされるのが中心だったそうですね。しかし、私達は、国や事業者からその説明会さえも受けることができずに、説明会を開催してくれるように福岡県や福岡市に要請や請願をしています。しかも、避難計画では、原発からの距離は飯館村とほぼ同じ距離の場所もあります。また、玄海原発の九電のために糸島市の約13500人の避難者受け入れをすることになっています。福島の場合をみれば、自分たちが逃げなければならぬ距離なのです。人は助けたい、しかし、自分たちも逃げなくてはならない。その矛盾を抱える福岡の住民のことをどう考えますか？

1 3、原発労働は、採掘から廃炉や事故収束作業にも、放射能被ばくがあります。現在の福島原発で、毎日何人の作業員が、どんな作業をしているのか、それがいつまで続くのか教えてください。今やめなければ、それは、もっと続くことになるのです。

1 4、玄海原発で事故が起きても、4.5テラベクレルだというのは、どんな根拠で出した数字なのですか？また、4.5テラベクレル出る状況とはどんな状況なのか教えてください。そのときに出る放射性物質での健康被害はどれくらいなのですか？

1 5、山口知事が発言されたように、確かに「玄海原発は、すでにあります。」しかし、再稼働しないで廃炉にしていくことと、再稼働をして宿題を後回しにすることとの間には大きな差があります。「今、宿題を片づける人になっていただく方になって欲しい。」という私達の願いに山口県知事は応えてくださいますか？

1 6、玄海で事故が起きた場合、山口佐賀県知事の福岡県民に対する責任の所在を明確にお示してください。

1 7、玄海原発で事故が起きた場合、被ばくは避けられない事になっていますが、ご自身の子や孫に説明されましたか。被ばくの理解は得られましたか？

1 8、風は佐賀にだけ吹いて、福岡方向は吹かないということですか？

1 9、事故時唐津の避難者が福岡県糸島の道路を通過することはありますか？

※すべての質問に4月28日までに文書にてお答えください。

※回答送付先 住所：

連絡先：今を生きる会（小林：090-4983-7032）